

2026

7

July  
No. 401

広  
報

みしま

福島県  
大沼郡  
三島町



三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

「作る人の手から使う人の手へ」  
今回も大盛況だった、第40回ふるさと会津工人まつり。

# 第40回ふるさと会津工人まつり

6月13日・14日の2日間、生活工芸館前のナラ林広場で、三島町主催、三島町生活工芸運動友の会と奥会津三島編組品振興協議会の共催による「第40回ふるさと会津工人まつり」が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、午前9時の開始前から多くの来場者が会場を訪れ、開会を待ちわびる姿が見られました。

今回は北は青森県から南は熊本県まで、全国各地から多くの工人が出席しました。今年も台湾の工人が参加し、藍染体験の催しをはじめ、藺草いぐさで作られた帽子や木工品などを披露しました。会場には編み細工や木工品をはじめ、陶芸、金属製品、皮革製品など、多彩な手仕事作品が並び、多くの来場者でにぎわいました。

飲食ブースには地元出店者のほか、奥会津3町村（柳津町、金山町、只見町）の店舗や、ふくしま三大鶏「川俣シャモ」で知られる川俣町、本町と交流のあるいわき市、さらに県外からも出店があり、会場を盛り上げました。

今年も町内各所の駐車場は午前中には満車となり、町内外から約1万8千人が来場する盛況となりました。工人の皆さんの手仕事作品との出会いや、来場者との交流など、それぞれが思い思いに工人まつりを楽しみ、充実した2日間となりました。



▲ 矢澤町長と国立台湾工芸研究発展センター陳主任



## 来場者が行き交い住民との交流を楽しんだ

## てわっさの里まつり・山と木の市場

6月13日・14日のふるさと会津工人まつりと同日に、てわっさの里まつり実行委員会主催による「てわっさの里まつり」が宮下地区で開催されました。

町内外から多くの来場者が訪れ、地区内を散策しながら、販売されているさまざまな品を買い求めたり、飲食を楽しんでいました。

また、佐久間建設工業株式会社の森のしごと舎（名入）では、「山と木の市場」も開催されており、こちらの会場にも多くの来場者が訪れ、丸太木挽やかな掛けの体験、木工品や木材の展示販売の他、飲食ブースでの飲食も楽しんでいました。

それぞれの催しの魅力は、町の住民と来場者との交流にあります。家々の軒先に掲げられた屋号の由来を尋ねたり、販売されている品々をきっかけに店主との会話を楽しんだりする姿や、木工体験を通し町内外の人が交流する、こうした光景は、住民が主体となって開催するイベントならではの魅力であり、来場者にも好評でした。

訪れた方々は、初夏の暑さを忘れるほど楽しいひとときを過ごし、「また来年も三島町を訪れたい」と笑顔で話していました。



▲ 山と木の市場で木挽体験をする子どもたち



▲ 各ブースでは、交流の輪が広がっていました

## コロナ禍以来7年ぶりの開催

## ふるさと会津工人まつり交流会

6月13日、「ふるさと会津工人まつり交流会」が、三島町と三島町生活工芸運動友の会の共催により、交流センター山びこで開催されました。

この交流会は、令和元年の開催を最後にコロナ禍の影響でしばらく途絶えていましたが、今回は7年ぶりの開催となりました。

当日は町の関係者をはじめ、台湾からの参加者や工人の皆さんなど約100人が参加しました。

工人まつりは「作る人の手から使う人の手へ」をテーマに開催されており、交流会では、工人同士をはじめ、関係者や来場者が親睦を深めました。

会場では、商工会女性部の皆さんが手作りした郷土料理を囲みながら、工芸や三島町の魅力、それぞれの国や地域の文化などについて語り合い、和やかな雰囲気の中で交流を深めました。山菜やこづゆなどの郷土料理も、参加者の皆さんから「おいしい」と大好評でした。

町内外はもとより海外からの参加者とも親睦も深めるなど、笑顔あふれる交流会となりました。



▲ 台湾や工人の皆さんとの交流会の様子



## 佐久間建設工業株式会社



▲ 会社社屋

事業内容	土木・建築・森林関連事業を手がける総合建設会社
従業員数	65人
勤務時間	8時から17時まで（昼休憩1時間）
年間休日等	125日（土日祝日は休み） ※完全週休二日制
給与等	賞与年2回（昨年度）

### 一企業からのメッセージ

当社は「地域と共に生きる」を理念に掲げ、奥会津地域の公共工事を受注しています。インフラの町医者として、メンテナンス作業をかかりつけ医のように実施することを大切にしています。社員の皆さんに対しては、奥会津地域の雇用を守ること、適正な利潤を挙げて社員に還元すること、ワークライフバランスの充実化を大切にしています。インフラのメンテナンスは日々の暮らしに不可欠なもので、それらを整備する事は社会貢献につながるやりがいがある仕事です。道路の整備や除雪に関しても、建設業が維持されなかったら地域は成り立ちません。過疎地域は一人ひとりの負担が大きくなると同時に、それぞれの意向が重視されるため、仕事のやりがいを実感できます。「この地域のために働きたい」という意欲をお持ちの方をお待ちしています。

### 社員インタビュー

氏名	松崎 <sup>ひろ</sup> 大さん (30代)
勤続	5年目
出身	郡山市



か月分支給されました。また、会社がしっかりと利益を生み出し、その利益を還元することを大切にしている点に魅力を感じています。

一方で、中途採用者が多く、さまざまな経歴を持つ社員が在席しているため、意思統一を図ることの難しさもあります。また、社員の高齢化や若手人材の確保・育成も課題となっています。

### 一三島町に住み、三島町で働く生活は？一

余暇は「会津学研究会」に所属し勉強会に参加したり、奥会津振興センターで実施している「奥会津ミュージアム」への執筆を行ったりしています。その他は、読書・映画・PCゲーム等のインドア趣味を充実させています。

※お子さん…葉（よう） くんの名前の由来 三島町間方地区などで行われていた、「北五葉（キタゴヨウ）」の松を用いた新年の儀礼「松迎（まつむかえ）」より。新しい命が生み出されたことの喜びと、地域に受け入れられるようにとの願いを込めて。「松」崎の苗字と合わせて。

### 一担当している業務は？一

総務部に所属し、公共工事入札事務全般、車両重機管理、社内PC情報システム維持管理、採用事務等を担当しています。

### 一この会社で働こうと思った理由は？一

平成29年に地域おこし協力隊兼学芸員（町史編纂業務担当）として三島町にきました。卒隊後、三島町在住の女性と結婚。その後人づてに「佐久間建設で働かないか」と誘われ、企業理念などに魅力を感じ、就職を決めました。

### 一職場のよいところと大変なところは？一

公共工事を受注しているので経営は安定しており、待遇面も充実しています。昨年度は賞与が約5

# 特集 「住みたい、住み続けたいふるさと（桐源郷）を創る」ために

## 三島町で働き暮らす魅力とは

### シリーズ第1回

三島町では、第五次振興計画において、人口減少対策を重点プロジェクトに掲げ、全庁を挙げて取り組みを進めています。

「住みたい、住み続けたいふるさとを創る」ために「雇用」の確保は欠かせない課題です。

只見川電源流域振興協議会が実施した三島中学校の生徒へのアンケートにおいて、「自分の地域や奥会津地域に住みたいと思う」と回答した人が回答者の半数であったことに対し、「将来働く候補になるような地元の企業のことを知っていると思う」と回答した人は25%にとどまっています。（以下結果参照）

そのため今回の特集では、「三島町に住み、三島町の企業で働く人々へのインタビュー」を通して、「三島町の企業」をご紹介しますことにしました。

取材する中で見えてきたのは、三島町の企業とそこで働く方々の、そこに暮らす人々も含めた「地域」への想いです。都会とは異なる「顔見知り」の多い環境で、「お客様」でありながら「家族」に対するような、温かなサービスが提供されているように感じます。それはまた、従業員の皆さんに対しても同様です。

ぜひ、この三島町に住み、働きながら、「住みたい、住み続けたい」ふるさとを一緒に創っていきましょう。

### 次世代の地域探求学習および将来意向に関する調査

調査年	2025年
調査目的	奥会津7町村の中学3年生および高校3年生の進路や意識に関する調査分析を行い、現状を可視化するとともに、地域キャリア教育や特定の地域に誇りを持ち、その地域を良くするために貢献しようとする自負心、中長期目標に立った人材育成を推進していくための示唆を提示するため
調査対象	奥会津地域内の中学生および高校生（各3年生を調査対象とした）
調査方法	各教育委員会および学校を通じて、生徒に対するアンケート調査を実施 各項目の回答には「当てはまる」「やや当てはまる」「やや当てはまらない」「当てはまらない」の4段階を設定

### 三島中学生の回答

#### Q.自分の地域や奥会津地域に住みたいと思う



#### Q.進学や就職などでいったんは外に出るが、いずれは自分の地域や奥会津地域に住みたいと思う



#### Q.将来働く候補になるような地元の企業のことを知っていると思う



## 社会福祉法人みしま 特別養護老人ホーム桐寿苑



▲ 施設外観（特別養護老人ホーム「桐寿苑」）

事業内容	特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービスを運営する社会福祉法人
従業員数	65人
勤務時間	早番、遅番、夜勤などの5つのシフト制
年間休日等	122日＋有給休暇は年最大20日
給与等	賞与年3回

### 一企業からのメッセージ

私たちは、「人にやさしい法人運営」を目指しています。地域の拠点介護施設として、「住み慣れた地域」で「自分らしい暮らし」を「人生最後の日まで」「安心して暮らせる」ように支援しています。

職員の皆さんには6K（感謝・謙虚・共感・研鑽・改革・気概）の心を大切に業務に励んでもらっています。65人の職員のうち37人が町内在住者で、町外からの通勤者であっても10人が町出身者という状況です。顔見知りの入所者さんには、より親しみを持って介護支援することができます。人や地域との繋がりのある介護施設だと思います。

自分の生まれ育ったところへの愛着は後になってわかるものです。新卒でなくてもその後三島町に戻って働くのも良いと思います。ぜひ私たちと一緒に働きましょう。

### 社員インタビュー

氏名	秦 一成さん (40代)
勤続	7年目
出身	三島町



人脈を広げられています。町外の入所者さんを含め、これまで頑張ってきた方の生き方、考え、昔の出来事を聞くことも自分の勉強になっています。

介護士は「気づく」ことが一番大切ですが、入所者さんの体調、気分、動きをこと細かく確認できる感覚が必要になります。判断が遅れないことで助かる命がありますので緊張感を持って仕事に入らせていただいています。時に看取る機会もあります。最期が私たちの手にゆだねられています。大変なこともあります。その方の人生最後の大切な時間を、ご家族と同じような気持ちで関わり、人生の大切さを知り、感じるすることができます。

頑張れば楽しいことはあります。それは知識を拡げることだったり、自分の技術を上げることだったりします。

#### —三島町に住み、三島町で働く生活は？—

以前はよく美坂高原まで歩いていましたが、季節の移り変わりや訪れる人など、毎日違う美坂高原の表情を楽しんでいました。

職もあり、人との繋がりもあります。地元消防団に所属することなどで地域を助けることもできます。戻ってきて正解だったと思います。

#### —担当している業務は？—

介護福祉士として、入所者の皆さんの身の回りのお世話をしています。

#### —この会社で働こうと思った理由は？—

大学卒業後、長野県で介護職などに携わってききましたが、両親も高齢になってきたので帰ってきました。母が福寿草デイサービスで看護師として勤務していたので人手が必要な状況は把握していました。現在の職場は自宅から近いため、入社を決めました。

#### —職場のよいところと大変なところは？—

大きな事業所でないの、個人の状況に合わせてシフトの調整が可能で、休みの都合がつけやすいところが良いです。また、入所者さんを知っているの、関わりやすく、ふるさとに帰って来てから広範囲に

## 有限会社マルシェみしま



▲ 施設外観（道の駅「尾瀬街道みしま宿」）

事業内容	道の駅における物販、食堂運営、観光案内
従業員数	7人（パート含む）
営業時間	8時から18時まで

### 一企業からのメッセージ

平成13年に創業した会社です。

お客様に対しては丁寧な接客を心掛け、土産品と合わせて地域の知識をお伝えすることを大切にしています。従業員の皆さんに対しては福利厚生や給与面の充実に努め、安心して働ける職場づくりに努めています。道の駅「尾瀬街道みしま宿」は三島町の顔として働ける職場です。休みが少なく大変かと思いますが、商売がお好きな方、ぜひ私たちと一緒に働きましょう。

### 社員インタビュー

氏名	佐藤 史穂さん (20代)
勤続	4ヶ月目
出身	三島町



とには苦労しましたが、日々新しいことを学びながら充実した毎日を送っています。

外国人観光客も多く訪れるため、お客様とのコミュニケーション方法についても学んでいます。県外の専門学校でデザインやグラフィックを学んだ経験があるので、今後はその知識やスキルを仕事にも生かしていきたいと考えています。

#### —担当している業務は？—

レジ打ち、在庫管理、接客対応、館内清掃などを担当しています。

#### —この会社で働こうと思った理由は？—

三島町内の別の施設で働いているときに知人からの紹介があり、やってみることにしました。自宅から職場が近く、通勤しやすいこともあり入社しました。

#### —職場のよいところと大変なところは？—

人と接することが好きなので、接客や観光案内をとおして、さまざまなお客様と交流できることにやりがいを感じています。また、自分で仕事の進め方を考えながら働けるため、時間を有効に使えることも魅力です。

未経験からのスタートだったため、業務を覚えるこ

#### —三島町に住み、三島町で働く生活は？—

三島町は景観が良く、野生動物が多い以外は困ることはないと思います。このような環境が好きな人にとっては生活するのに良いところだと思います。

来客される方の中には農産物の納品者の方もいます。そのような方とも交流しつつ、お住いの場所や他に生産している産物なども把握するようにしています。自分は知らなくても相手の方は自分のことを知っているということもあるので、積極的にコミュニケーションを取るように心掛けています。



## 福島県知事が三島町を訪問しました！

6月11日、内堀雅雄福島県知事が三島町を訪れ、町内を視察しました。

この視察は、県内の自然や歴史、食などを体験する「ふくしまアートウォーキング」の一環として、県内各市町村の現状を毎年視察する目的で実施されているものです。

知事は、アーチ三兄（橋）弟、会津宮下駅前のテレサ・テンさんの歌碑などの代表的な観光施設のほか、宮下地区内を巡り、町職員から説明を受けました。

また、小島純さん（宮下）から、寄席文字で書かれた表札が贈られました。

宮下地区内を視察した知事は、「屋号標識など、地区の景観維持活動に住民の皆さんが積極的に取り組んでいることは大変素晴らしく、今後、地域活動を維持・継続していくうえで大切な姿勢である」と話しました。



## 三島小・中学校の子どもたちが参加した西方の虫送り

6月13日、三島町西方地区において虫送りが行われました。この行事は農作物に影響を及ぼす害虫を集落の境界まで送り出し、豊作を願う伝統行事です。

かつては田植えを終えたお祝いである「サナブリ」の日に行われていましたが、現在は6月第2土曜日に実施されています。コロナ禍で一時休止しましたが、令和5年に再開しました。

地区の子どもたちが中心となる行事ですが、子どもの数が年々減少したため、今年度からは地区有志で「西方虫送り保存会」を結成し、三島小・中の子どもたちに協力を呼びかけ実施しました。

当日、中学生は虫送りの準備から手伝い、開始前には小学生のほか、地区出身で他市町村に住む子どもたちも参加しました。

午後6時半に開始、行列となって地区の上から下へと提灯を手に山車を曳き、太鼓の音とともに「でんばら虫の追いくらヨイヨイ 何虫も追いくらヨイヨイ 万の虫も追いくらヨイヨイ」と唱えながら練り歩きました。



## 会津坂下地区交通安全協会三島分会がカーブミラー清掃を実施

5月31日に会津坂下地区交通安全協会三島分会の役員8名が町内に設置されているカーブミラーを清掃しました。

これは、三島分会の事業として、交通安全や通学路の安全確保を目的に毎年実施しているものです。

汚れが目立ち、運転する側からは見えにくい場所もありましたが、約3時間の作業で、とても綺麗になりました。



## 3年ぶり！多くの参加者でにぎわった志津倉山開き

6月7日、志津倉山の山開きが3年ぶりに開催されました。

当日は快晴に恵まれ、48名の方々が参加しました。参加者の皆さんは、志津倉山が見せる美しい自然や雄大な景色を楽しみながら、それぞれのペースで登山を満喫していました。

下山後には、会津地鶏汁の振る舞いや抽選会が行われ、多くの参加者から好評の声が寄せられました。「また次回も参加したい」との声も聞かれ、笑顔あふれる山開きとなりました。



▲ 登山前の集合写真

▲ 雨乞岩下で休憩をする参加者

▲ 会津地鶏汁と抽選会を楽しむ参加者

## 県立博物館において国指定重要文化財の荒屋敷遺跡出土品を展示中！

福島県立博物館（会津若松市）において、「三島町荒屋敷遺跡を考える」が今年6月6日から開催されており、町が所蔵する国指定重要文化財の荒屋敷遺跡出土品が展示されています（会期は10月12日まで。観覧には、福島県立博物館で常設展観覧料が必要です。）。

土器や石器をはじめ、木を素材とする弓や斧の柄、木製の器といった道具や、ササ類を素材とする編み籠、漆を利用した道具など、荒屋敷遺跡の生活とものづくりの実態がうかがえる品々が解説とともに展示されています。普段は収蔵庫に保管されている出土品の数々を観覧できる貴重な機会となっています。



## 荻野武男様より酒井三良氏の絵画が町に寄贈されました！



▲左から矢澤町長、荻野武男氏、山口教育長

酒井三良氏は、明治30年（1897年）に宮下で生まれ、昭和44年（1968年）に没するまで郷土を描き続け、数多くの作品を遺しました。その絵画1点が、いわき市在住の荻野武男様のご厚意で、町に寄贈されることとなり、6月7日、荻野様より町長に作品が手渡されました。

荻野様によれば、別の方が所蔵していた本作品を巡り巡って譲り受け、作者である酒井三良氏の生まれ故郷は三島町であることがわかり、故郷に戻りたい、故郷で飾られるのが何よりも良いとの思いから、今回の寄贈となりました。

町では本作をはじめ、町が所蔵する酒井三良氏の絵画を、機会を見て展示したいと考えています。

## 町民記者通信



### 【滝原】古峯講（5月14日）

佐久間 絹江さん

滝原地区は背後の三坂山に守られ、その山頂に至る中腹に祠が奉られています。

毎年、世話役の区長が待つ祠に住民各自が無火災の安全祈願を兼ねて赴き、参拝し御神酒をいただきます。さらに諸事情により、参拝が叶わない住民の方を交えて林業センターにて再度参集し、御神酒、清められた魚塩をいただき、親睦を深めます。



### 【宮下】大登ロータリーとアーチ三兄(橋)弟 視点場の草刈り作業(5月27日) 小島 純さん

宮下地区では、「てわっさの里まつり」を間近に控えた5月27日に、大登ロータリーの草刈り作業を午前6時から地区委員が集まり実施しました。

町内を訪れる方々に気持ちよく町に入ってもらうため、町への入口にあたるロータリーの草を刈りました。

その後、全員でアーチ三兄(橋)弟の撮影、観光スポットでもある視点場へ移動し、視点場を訪れる方々に気持ちよく撮影してもらうため、ここでも草刈り作業を実施しました。



## 台湾訪問団が来町 町関係者と交流し今後を語る

6月15日、三島町と交流のある国立台湾工芸研究発展センターをはじめ、友好交流協定を締結している国立雲林科技大学や関連機関による訪問団が来町しました。

町からは、町長をはじめ、議会議長、伝統工芸士などが参加し、各機関の紹介のほか、これまでの三島町と台湾との交流の歩みを振り返るとともに、今後の展開について意見交換が行われました。その中では、台湾における三島町との交流30周年記念展や奥会津を紹介する展示会の開催、さらには奥会津の工芸を体験するツアーが提案されました。

長年にわたり育まれてきた台湾との交流は、工芸を通じた人と人とのつながりを深めるとともに、新たな交流の広がりにつながっています。今後も国立台湾工芸研究発展センターや国立雲林科技大学をはじめとする関係機関との連携を深めながら、さらなる交流の発展が期待されます。



## 「英語で自己紹介」第2回 三島中学校と台湾の学校のオンライン交流

6月16日、三島中学校において、台湾の雲林県立樟湖生態国民中小学校（小中一貫校）の日本語部7・8年生と、三島中学校の2・3年生がオンラインで2回目の交流を行いました。

今回は、タブレットを活用した1対1の対話形式で、英語による自己紹介やコミュニケーションを行いました。

慣れない英会話に加え、一人で対話に臨む環境の中、生徒たちは身振り手振りやインターネット上の画像共有など、さまざまな方法を工夫してコミュニケーションを図りました。交流後には、生徒たちの顔に笑顔があふれ、「とても楽しかった」という感想が多く聞かれました。

今後も交流をととして親睦を深めながら、将来的には両地域に共通する人口減少や過疎化といった地域課題について調査・研究を行い、その成果をオンラインで発表し合うことで、互いの理解を深めていきたいと考えています。



【桧原】花植え活動（6月18日）

阿部 和彦さん

ボランティア桧原は18日の午後6時、女性会員7名を中心に花植え活動を行いました。

今年もマリーゴールド25本・日々草35本と培養土10袋、追加のプランター5個を用意していただき「JR会津桧原駅」8鉢・「桧原多目的集会所」8鉢・「お地蔵様」4鉢の合計20鉢を設置することができました。

平日、夕方の作業でしたが、皆さんの手慣れた技術と協力で、土入れから植栽、運搬まで手早く終わることができました。

三島町では「美しい地区づくり町民運動」を推奨し、景観や文化を守り継承していく事業や活動に力を入れています。

住民の皆さんやJR只見線の観光客にこの風景を楽しんでいただけたら、ボランティア桧原としても大きな励みになると思います。



【桧原】アメシロ駆除作業（6月20日）

阿部 和彦さん

桧原地区役員と隣組長11名によるアメシロの消毒・駆除作業が行われました。

アメリカシロヒトリは、桑や柿の木、桜や庭木などの果樹・樹木に発生し、葉を食い荒らす害虫で、早めの対応が必要とされています。

当日は梅雨入りの曇り空で、穏やかな天候のなか実施できたのは幸運でした。

今年も三島町の噴霧機械をお借りし、軽トラックに積み、薬剤の散布を行いました。

毎年、気温と湿度が上昇し、アメシロが発生しやすい梅雨時期に、地区内の道路沿いの木々を中心に散布し、大発生を防ぎます。

活動は暑くなる前、朝8時から1時間半程で噴霧作業を終了しました。皆さんのおかげで、今年もきれいな緑の季節を迎えることができます。



【滝谷】環境美化運動～みんなで花植え～（6月20日）

目黒 民一さん

6月20日、滝谷健康を守る会と婦人会では、地区の環境美化運動の一環として花の植栽活動を合同で行いました。

朝8時より総勢20名でてきばきと作業を行い、約1時間で彩も鮮やかな花畑ができあがりました。

その後、婦人会の皆さんは地区集会所に場所を移して、床のワックスがけに汗を流しました。

皆さん、大変お疲れ様でした。



【宮下】おいしいお米になれ！みんなで楽しく「田植え」作業（5月28日）

小島 純さん

三島小学校3～6年生30名の児童の皆さんと宮下地区と公民館が協力し「びおたん交流事業」として毎年田植えが行われています。

宮下区長をはじめ、地区委員、びおたんクラブ役員と町づくり応援隊の皆さんのご協力をいただきました。宮下地区の方から田植えの説明を受け、作業開始しました。

田んぼのぬかるみに足を取られながら、悪戦苦闘して一生懸命に苗を植えていきました。

閉会式では、児童から田植えの感想が述べられ、「最後の田植えだったけど楽しくできた」「ぬかるんで大変だったけど、みんなと横一列になってうまく植えられた」などの感想が聞かれました。



【宮下】みんなで楽しくウォーキング（5月30日）

小島 純さん

宮下分館と荒屋敷分館では、5月30日の絶好のウォーキング日和に、健康ウォーキングを開催しました。

午前9時、宮下活性化センターに集合し、参加者全員が準備体操をしてからセンターを出発しました。

只見線の撮影スポットでもある三つのアーチ橋をまとめて見ることができるアーチ三兄（橋）弟や普段は歩かない裏道のサイクリングロードを歩いたほか、荒屋敷地区内を回り、その景色を楽しみました。また、歩きながら、道に落ちているゴミも収集しました。

ウォーキングの後は、全員でバーベキューをしました。

爽やかな青空の下、皆で親睦を深めました。



【滝原】ボランティア活動～コスモスの種まき～（6月13日）

佐久間 絹江さん

6月13日、地区有志の方々が、早朝6時に集まり、昨年収穫したコスモスの種を、地区入り口待避所と、集会所横西側の道路沿いに蒔きました。

国道に面している滝原地区は、大型車両等の交通量も多く、山道を上り切った直線道路となるため、スピードの出やすい区間ですが、道幅も狭いうえ、家屋も続いています。

スピードの出しすぎに気を付けて、道路沿いの花に目を向けるゆとりのある運転を心がけてほしいと願っています。



# 熱中症予防のために

vol.112  
健康で元気な毎日！  
町民課保健福祉係 ☎ 48-5565

梅雨が明ける7月は暑い日が続くことが予想されています。暑い日が続くことにより、熱中症の危険性が高まります。熱中症の予防のためには、場所に応じた適切な対策を取ることが重要です。また、熱中症アラート発生時には、農作業や外出をなるべく控え、暑さを避けましょう。

<p>✓ エアコン等で温度をこまめに調節</p>	<p>✓ 遮光カーテン・すだれの利用、打ち水の実施</p>	<p>✓ 外出時には日傘の使用、帽子の着用</p>
<p>✓ 天気のよい日は日陰の利用、こまめな休憩</p>	<p>✓ 吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣服を着用</p>	<p>✓ 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす</p>



高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、暑さに対するからだの調節機能も低下しているため、注意が必要です。こどもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので気を配る必要があります。

また、障害のある方には、体温調節が難しい場合や、のどが渇いても気づかない、自分で水分がとれない等の場合がありますので、介助者やまわりの方は注意しましょう！

## 新刊図書のご案内

### 町民センターゆめぼけっと

※本の貸出し期間は2週間です。  
次に利用される方のためにも、返却期限を守りください。

☎ 公民館 ☎ (48)5599

#### ●今月のおすすめ

咲良は上手に説明したい！

#### ●その他図書の紹介

愛するということ



主人公の石川咲良は、ひよんなことから未経験でマニュアル制作会社「FTC」に飛び込みます。そこで彼女を待っていたのは、一文字の妥協も許さない「テクニカルライター」たちの情熱的な世界でした。「ゴミ出しの注意書き」や「ベビーカーの安全な使い方」、「AEDの操作手順」など、日常の何気ない案内文一つをとっても、そこには読み手の安全を守り、迷いをなくすための緻密なロジックと、書き手の「仁義なき戦い」が隠されていました。ただ正しいだけでなく、いかに読み手に寄り添い、思いを届けるか。そのプロの仕事ぶりがみずみずしく描かれています。

滝沢 志郎 著

エーリッヒ・フロム 著



## 【西方】「元気にすごそう」をテーマの西方宝探しウォーキング(6月20日) 本名 与四郎さん

西方健康を守る会主催の宝さがしウォーキングは、6月20日に行われました。参加者は午前10時までにふるさとセンターに集合しました。昨年と同様に20名を上回る地区民が参加しました。健康を守る会の会長である渡部吉一さんが開会宣言と「元気に楽しいひとときを過ごしていただきたい」という挨拶がありました。

はじめに、けがの無いようにラジオ体操を行い、体全体をほぐしました。その後、徒歩または押し車などで、区内にある宝を探す「宝探しウォーキング」という形で実施されました。「宝の地図」をよりどころに、誰もが気軽に楽しめる、区内の意外と知らない地区の宝物を見つけていました。「こんな所にあることすら知らなかった」と和気あいあいと楽しく見つけていました。

宝探しウォーキングは、参加者に好評のこともあり、昨年に引き続き、西方地区の知られざる場所とそこに眠る古(いにしえ)からの宝物を改めて再認識する良い機会となりました。宝探しウォーキング終了後、ふるさとセンターでお茶会があり、和気あいあいと盛会裏に終了しました。

「待ってます 来年こそは じいじたちよ」  
「ふるさとの 地藏観音 手を合わせ 宝をもらい 健康願う」  
「参加して 次回はビール ありますよ」



観光交流館 からんころん  
三島町観光協会

第184号

〔三島町観光協会・観光交流館からんころん〕  
営業時間 8:30～17:30 定休日/月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)  
〒969-7511 福島県大沼郡三島町大字宮下字宮下 214-5  
☎ 0241(48)5000 FAX: 0241(42)7072 メール: mishima@oboe.ocn.ne.jp



### 撮る、乗る、渡る、奥会津を巡る旅

会津グルメと人気の「只見川橋梁ビューポイント(道の駅みしま宿)」「只見線乗車」「霧幻峡の渡し舟or早戸温泉」をお楽しみいただけるバスツアーです。

【運行日】 7月毎週土・日・祝日運行  
【内容】 会津若松駅・東山温泉・道の駅あいづ発着  
★座席定員制 ★バスガイド付 ★只見線乗車券  
★昼食付 ★渡し舟乗船券または入湯券込み  
【金額】 大人(中学生～)6,900円、  
小人(1歳以上小学生)4,900円  
【申込・問い合わせ】 ☎0242(22)5555

### 茶屋&キッチンカーの日

店名/営業日	メニュー
宮下そばの会 (宮下荒屋敷地区有志の皆さん)	ざる蕎麦 ・並盛 700円(税込) ・大盛 1,000円(税込) ・特盛り 1,200円(税込)
11・12日(土・日)、25・26日(土・日) 時間 11:00～14:00 ※売り切れ次第終了	
中国風カフェ 茶吧 誠 (磐梯町)	・中国茶 400円(税込)～ ・薬膳茶 400円(税込)～ ・点心(軽食) 100円(税込)～ ・飲茶セット 700円
10日(金)、20日(月・祝) 時間 11:00～17:00 ※上記以外で臨時営業する場合があります	

### 三島町・奥会津関連の行事・イベント情報

- 7/4 ひだまり夏まつり/宮下温泉ひだまり
- 7/18 からむし織の里フェア2026/昭和村
- 7/26 志津倉山麓ブナ平で森林浴/間方
- 8/1・2 第50回沼沢湖水まつり/金山町
- 8/10 第89回盃まつり流灯花火大会/柳津町
- 8/11・12 みさかDEあそび!/美坂高原
- 8/13 お盆櫓踊り/滝谷地区
- 9月第二週 神社まつり/町内
- 9/13 ミサカノヨゾラ2026/美坂高原

【開催中】

撮っておきのみしま町フォトコンテスト/交流センター山びこ紙と光のアート-半澤政人の創作展-/交流センター山びこ

●●夏の只見線臨時特別列車●●

トロッコ列車「風っこ只見線満喫号」会津若松⇄只見  
運行日 7/18～20 8/1・2、8・9

# 国環研だより 第95回

## 暑い日は朝に運動！熱中症対策につながる運動の工夫



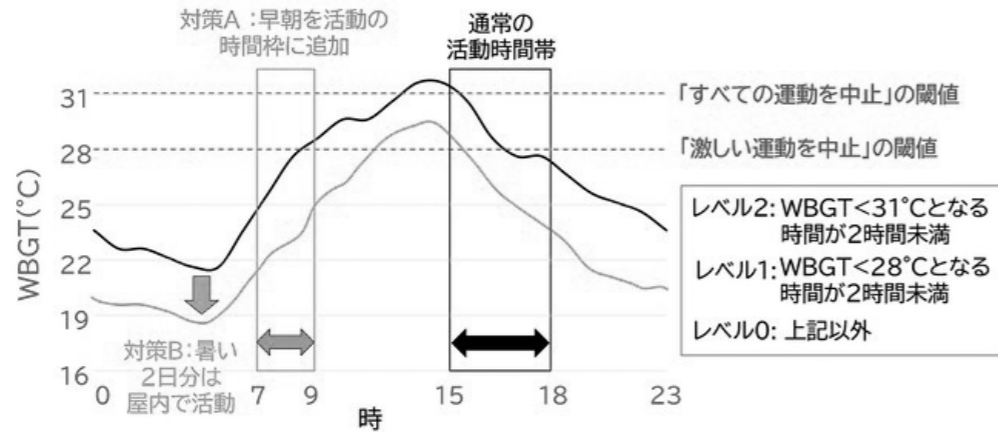
三島町のみなさま、こんにちは。7月に入り、いよいよ夏の季節がやってきました。近年では夏の暑さが厳しくなり、学校の部活動中に熱中症になるケースも報告されており、暑い日の運動には注意が必要です。今回は、国立環境研究所と早稲田大学の研究をもとに、暑い日の運動の工夫をご紹介します。

### ■暑さの目安「WBGT」とは

熱中症の危険度を判断する目安として「暑さ指数（WBGT）」があります。これは気温に加えて、湿度や日差しの強さなども含めた、体が受ける暑さの負担を表したものです。同じ気温でも、WBGTの数値が高いと熱中症のリスクが高まります。WBGTは環境省の熱中症予防情報サイト（[https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt\\_data.php](https://www.wbgt.env.go.jp/wbgt_data.php)）などで確認することができます。

### ■運動する「時間」と「場所」を工夫する

研究では、日本全国842の都市を対象に、過去のデータから将来の時間ごとのWBGTを予測し、暑さによって運動を控えたり中止したりする必要がある時間がどの程度増えるのかを分析しました。また、活動時間を早朝に移すことや、空調のある屋内施設を活用することの効果も評価しました。その結果、暑さの厳しい時間帯や場所を避ける工夫により、体への負担を減らし、熱中症対策につながる事がわかりました。



一方で、地球温暖化が進むと、現在と同じような屋外での活動が難しくなる地域が増えることも予測されています。将来的に、地域によっては1年のうち数か月間は運動の制限が必要になる可能性があり、早朝練習や屋内施設を活用するだけでなく、大会や練習スケジュールの見直しが必要になるかもしれません。

三島町でも健康づくりのために、日常的に運動をされている方も多くいらっしゃると思います。天気予報と一緒にWBGTもチェックして、運動の時間を朝に変更したり、涼しい屋内を活用したりするなど、暑さに応じた行動を心がけていただければと思います。

### 【参考文献】

・国立環境研究所・早稲田大学「21世紀の暑さの中で運動部活動はできるのか？」  
<https://www.nies.go.jp/pr/news-and-updates/2025/20250408/20250408-1.html>

国立環境研究所福島地域協働研究拠点  
地域環境創生研究室 ☎ 0247(61)6572

筆者 常盤 達彦



## 地域おこし協力隊 活動誌

### 初夏の手仕事



▲長谷川 聡子さん (生活工芸アカデミー生)

こんにちは。皆さま工人まつりお疲れさまでした。あつという間に一大イベントが過ぎ、新緑が深まり夏を感じる季節になりましたね。私たちアカデミー9期生は三島町に移住して3か月が経ち、編み組みはもちろん、ご近所の方々との交流も楽しみながら充実した日々を過ごしています。これまでの活動では、ヒロコは3作目、クルミは2作目の制作に入りました。2作目以降は自分たちで編み進め



▲アカソ採取



▲ご近所との笹まき作り



▲宮下の畑の里芋

ていますが、一度作っただけではなかなか身につかず、先生や先輩方から助けていただきながら制作しています。失敗を重ねながら自分の手で作り上げた作品には愛着が湧き、ものづくりの楽しさを実感しています。現在はアカソの採取真っ只中です。今年は例年より気温が高く、収穫時期も早まっているそうです。限られた期間の中で材料を確保するため、軽トラックいっぱい採取したアカソの皮を剥ぐ作業を連日行っています。材料として使える部分はほんのわずかですが、先人の知恵に感じしながら取り組んでいます。宮下と浅岐の畑でも野菜がすくすく育っています。旬の素材を採取し、保存し、大切に使う。そんな三島町の暮らしを、これからも学んでいきたいと思っています。

## 材料採取の季節 ～山が動く～



工人まつりの前後は、さまざまな材料の採取適期が一気に押し寄せるため、イベント準備と並行して慌ただしい日々を過ごしています。

近年は雪が少ない影響なのか、「山の動き」（植物の芽吹きや葉の成長）が年々早まっているように感じます。

これまで工人まつりの後に採取していたアカソも、ほかの工人さんがすでに取り始めているのを見かけ、「まだ待ってほしい、もう少し後で…」と思いつつも状態を確かめ、結局は工人まつり直前に今期最初の採取を決行しました。道端のマタタビの葉も5月中旬には白くなり始め、「こんなに早かったらどうか」と驚かされます。山ブドウも、昔は「栗の花が咲く頃が適期」といわれていましたが、今ではそれより前に確認しないと間に合わないが増えてきました。

こうして日々、季節の移り変わりの早さを実感していると、「これまでどおりの日程で、材料採取やイベントを続けていけるのだろうか」と少し考えてしまうことがあります。



生活工芸館 HP

三島町生活工芸館 ☎ (48)5502

## 工芸館だより

59

## ものづくりの伝承



今回も、前月に引き続き、西川村外二ヶ村組合（以降、組合村と表記）の歴代組合長について、町役場に遺された写真とともに簡単に紹介していきます。

6代の齋藤保蔵は、12年も組合長を勤めています。大正8年（1919）、齋藤は大沼郡会議員選挙に立候補するため、組合長を辞します。その推薦状には、「(一) 納税ノ改善 (二) 電信架設ノ努力 (三) 勸業ノ奨励 (四) 原谷三谷校舎の増築 (五) 美女街道、柳津街道、沼澤街道二努力」といった齋藤の功績が記されています。なお、郡会議員選挙の結果は、松原の片山重喜が1票差で当選、齋藤は敗れたと西方の山内政記の日記にあります。

7代の河越駒次が組合長であった大正9年（1920）には、日本で初めての国勢調査が行われ、河越は県知事宛に調査員となる者の内申を報告しています。その調査員の名簿には、後に組合長となる角田伊作や、志田庸の名があります。

8代の角田伊作は、組合長などの公職に就いていたほか、川井で「越前屋」という宿も経営していました。角田が組合長時には、電話架設に関する寄付金等を集めたり（昭和4年に2件架設からはじまる）、当時柳津駅まで開通した今でいう「只見線」のさらなる延伸についての陳情が本格的に始まりました。9代の渡部禎二は3代目組合長と同名同名で同家の出身ですが別の人物です。「地方財政調整交付金」設定に関しての意見書を大臣に提出したり、水力発電所工事起工に向けて動き始めたり、「柳津只見小出間鉄

道期成同盟会」として各自治体の長が連名で陳情した時その名を連ねたりしています。宮下土木監督所（現宮下土木事務所）ができた頃、また鉄道の延伸が決定した時に組合長であったのも渡部です。

10代の志田庸の家には当時の資料が多く遺されており、町の近代史の解明に役立っています。東北を襲った昭和9年（1934）の大凶作の影響で各地に作られた郷倉や共同作業場に関する条例が、志田が組合長の頃（その代理の時期も含め）に施行されました。また、12年に組合村が「一部事務組合」から「全部事務組合」に変わり、村の名称以外はほぼ合併したも同然となったのも、「消防組」が防空等も担う「警防団」となったのも、会津宮下駅まで鉄道が延伸し、宮下発電所工事が始まったのも、志田が組合長の時期です。

（町史編さん室）

10代	9代	8代	7代	6代
志田庸	渡部禎二	角田伊作	河越駒次	齋藤保蔵
宮下	大登	川井	桑原	宮下
昭和11年7月12日	昭和10年11月12日	昭和2年11月12日	大正8年11月12日	明治40年9月4日
昭和17年1月12日	昭和10年11月12日	昭和6年11月12日	昭和2年11月12日	大正8年9月4日



10代 志田庸      9代 渡部禎二      8代 角田伊作      7代 河越駒次      6代 齋藤保蔵

ご家庭に古い文書や写真などがございましたら、交流センター山びこへご連絡ください。

☎(52)2165

消防署からのお知らせ

熱中症に注意！

熱中症予防強化月間  
7月1日(水)～7月31日(金)

熱中症予防強化月間とは？

熱中症に関する普及啓発等の効果をより一層高いものとするため、2013年6月4日(水)に開催した熱中症関係省庁連絡会議において、熱中症に罹る人が急増する7月（1日～31日）を「熱中症予防強化月間」と設定されました。

こんな時は、急いで救急車（119番）を要請してください。

- 受け答えや会話がおかしい
- 体が熱い、けいれんする
- 普段どおり歩けない

熱中症予防で気を付けること

- こまめな水分補給
- バランスよく食べる
- エアコンを適切に使う
- 周囲へのよびかけ
- 熱中症警戒アラート発表中の外出は控える

☎会津坂下消防署 三島出張所  
☎(52) 3032 / FAX (52) 3033

会津坂下警察署からのお知らせ

外国人の適正雇用について

令和7年1月1日現在、日本国内に約7万4,000人の不法残留者がおり、その多くが不法就労をしていると思われます。

不法滞在や不法就労に関する情報を得た場合は、最寄りの警察署・交番等に連絡をお願いします

不法就労とは？

1 不法滞任者が働くケース

- オーバーステイや、密入国した者が働くこと
- 退去強制されることが決まっている人が働くこと

2 出入国在留管理庁から働く許可を受けずに働く場合

- 留学生、難民認定申請中の者が許可を得ないで働くこと
- 観光等の短期滞在目的で入国した者が働くこと

3 働く事が認められている外国人がその在留資格で認められた範囲を超えて働く場合

- 調理人や、語学学校教師として認められた人が工場等で単純労働をすること
- 留学生が許可された労働時間を超えて働くこと

事業主の方は、外国人を雇用する際に、在留カード等を確認して就労資格や資格外活動の許可(裏面)の有無を確認してください。

**不法就労に当る外国人労働者を雇用した場合、事業主も処罰の対象になります。**

※「不法就労助長罪」 3年以下の拘禁系・300万円以下の罰金

☎会津坂下警察署警務係 ☎0242 (83) 3451

ふくしま就職面接会&企業説明会を開催します

令和9年3月新規大学等を卒業予定の方、概ね35歳未満で現在就職活動をしている方を対象に、県内企業との面接会を開催します。ここでしか出会えない魅力ある県内企業が多数参加！是非ご参加ください！！

開催日等	8月7日(金) 13時00分～15時30分 ～「ユースエール認定企業」も参加！合わせて県内企業100社が参加予定～ 【会場】ビッグパレットふくしま 多目的展示ホールA・B 【お問合せ先】福島労働局職業安定課若年者雇用対策係 (☎ 024(529)5396)
主催	厚生労働省福島労働局（新卒応援ハローワーク、ハローワーク）、福島県
共催	郡山市
実施内容	①事業所ブースにおける人事担当者との面談 ②ハローワーク等各機関による職業相談・情報提供
その他	①学生等、求職者の方の参加申込みは不要です。 ②郡山駅西口から会場まで、無料シャトルバスを運行予定です。 ③参加事業所は7月中に、福島労働局ホームページ上で公開予定です。 ④詳細は右のQRコードより、福島労働局ホームページをご覧ください。



## 宮下病院からのお知らせ

### 赴任のご挨拶

宮下病院 内科 鈴木 康平

4月より県立宮下病院に赴任いたしました鈴木康平です。これまで消化器内科を中心に診療に携わってまいりました。地域の皆さまが安心して受診できるよう、丁寧でわかりやすい診療を心がけてまいります。まだ不慣れな点もございますが、皆さまのお力になれるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

☎福島県立宮下病院 ☎(52)2321

## 町からのお知らせ

### 7月分納税のご案内

【納期限 7月31日(金)】

- ▼ 固定資産税（普通徴収）（第2期）
  - ▼ 国民健康保険税（第2期）
  - ▼ 介護保険料（普通徴収）（第2期）
- 忘れずに納付してください。

☎町民課 町民係 ☎(48) 5555

### ご寄附ありがとうございました

#### ふるさと納税（5月分）

佐久間 幸 巳 様（埼玉県）  
他寄附件数4件 計61,000円

### お悔み申し上げます

渡 部 由美子 様（76才・荒屋敷）  
二瓶 辰右ヱ門 様（72才・西方）  
五十嵐 清 人 様（72才・大石田）

### 町の人口と世帯（6月1日現在）

人口	1,261	増減数	-3	出生	0
男	632		-3	死亡	3
女	629		0	転入	3
世帯	658		0	転出	3

※住民基本台帳による数値です。増減数は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

## 社会福祉協議会より

大登サロン	滝谷和楽塾
7月6日(月) 午後1時半から 大登生活改善センター	7月21日(火) 午前10時から 滝谷集会所
桧原はつらつクラブ	ほがらかサロン
7月7日(火) 社会見学	7月23日(木) 午前10時から 森の校舎カタクリ
大石田友遊サロン	大登サロン
7月8日(水) 午前10時から 大石田集会所	8月3日(月) 午後1時半から 大登生活改善センター
ひまわりサロン 川井友愛サロン	桧原はつらつクラブ
7月10日(金) 社会見学	8月4日(火) 午前10時から 桧原集会所
間方いきいきクラブ 浅岐あったかサロン	大石田友遊サロン
7月14日(火) 社会見学	8月5日(水) 午前10時から 大石田集会所
サロンなごみ	川井友愛サロン
7月16日(木) 午前10時から 西方ふるさとセンター	8月7日(金) 午前10時から 川井集会所
大登サロン サロンないり 高清水・小山いきいきサロン	
7月17日(金) 社会見学	

### 町社会福祉協議会へのご寄附 （ご遺志によるもの）

伊 藤 史 様（湯川村）  
五十嵐 豊 子 様（大石田）  
二 瓶 辰之進 様（西方）

☎社会福祉協議会 ☎(52)3344

## 愛ばんしょ外来からのお知らせ

三島町ケーブルテレビ三島通信  
で健康教室を放送中です。

7月「きちんと食べて水分補給」です。

ぜひご覧ください。



☎福島県立宮下病院 ☎(52)2321

## 国民健康保険税について

令和8年度の国民健康保険税について、「子ども・子育て支援納付金分」の導入や、課税限度額と低所得者に係る軽減の見直しを行い、下図のとおり決定しました。

また、現在の社会経済情勢等に配慮し、子ども・子育て支援納付金分を、医療給付費分及び後期高齢者支援金分で調整し、**昨年度と同程度の税額としました。**

### 【子ども・子育て支援納付金分とは】

国では、令和8年度から、社会全体で子育てを支援する取り組みとして、子ども・子育て支援納付金分を創設しました。すべての世代や、企業の皆様から支援金を拠出いただき、子育て施策の拡充に充てるもので、子どもや子育て世帯を社会全体で支える制度です。

### 令和8年度 三島町国民健康保険税（税額・税率）

区 分	医療給付費分	後期高齢者支援金分	介護納付金分 (40歳～65歳未満の方)	子ども・子育て 支援納付金分
所得割 (被保険者1人につき)	(前年の所得－43万円) × 6.52%	(前年の所得－43万円) × 3.33%	(前年の所得－43万円) × 2.65%	(前年の所得－43万円) × 0.29%
均等割 (被保険者1人につき)	17,100円	7,900円	6,000円	1,200円(※1)
18歳以上均等割 (被保険者1人につき)	—	—	—	100円(※2)
平等割 (1世帯につき)	11,100円	5,600円	3,500円	800円

(※1) 18歳未満被保険者（18歳に達する日以後の最初の3月31日以前である者）は、子ども・子育て支援金分の均等割（1,200円）が全額減額されます。

(※2) 「18歳以上均等割」とは、18歳未満被保険者の均等割総額を18歳以上被保険者で負担するものです。

## 「ただいま、ふくしま。2026in東京」に来てみませんか？

福島県では、首都圏にお住いの福島県出身の若者を対象とした交流会を東京都内で開催します。出身者同士で横のつながりを作れる絶好の機会です。現在参加者募集中です。対象となるご家族、友人・知人がいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。

開催日時	8月29日(土) 14:00～17:00（予定）
会 場	WITH HARAJUKU HALL（東京都渋谷区神宮前1丁目14-30 3F）
対 象	首都圏にお住いの20～30代の福島県出身者〔定員200名〕 詳細は下記特設サイトをご覧ください。
料 金	2,000円 ※事前決裁
定 員	200名
特設サイト・ 参加申し込み	右記QRコードよりお申し込みください。 ※参加申し込み可能です。
問 合 せ	福島県ふくしまぐらし推進課 ☎024(521)8023



# 「みさかDEあそぼ！」開催

今年も、美坂高原において「みさかDEあそぼ！」を開催します。

見晴らしの良い開放的な高原で、涼やかな風を感じながら、ご家族で夏休みのひとときをお過ごしください。

当日は、プールや流しそうめんなど、子どもから大人まで楽しめる催しをご用意しております。

ご興味のある方は、ぜひ当日、美坂高原へお越しください。

## 町長スケジュール

### 7-8月

月日	曜日	予定公務
7/5	日	地域スポーツ大会両沼大会
6	月	会津西部斎苑運営連絡協議会総会
7	火	交通安全協会三島分会総会
10	金	両沼町村議会議員交流大会交流会
13	月	国道県道期成同盟会総会
21	火	農業委員会
23	木	「社会を明るくする運動」両沼地区研究集会 令和8年度福島県砂防協会総会
24	金	坂下厚生総合病院運営委員会
27	月	町村長中央研修会
28	火	町村長中央研修会
8/5	水	広域圏議会

## 三島町公式インスタグラム

三島町では、4月より公式インスタグラムを開設しました。

観光やイベントの情報を発信しておりますので、ぜひアカウントをフォローのうえご覧ください。

投稿への「いいね」やリポストでの拡散にも、皆様のご協力をお願いいたします。